



もっと素敵な伝え方を。

URL <http://www.stream.co.jp/>



もっと素敵な伝え方を。

株式会社Jストリーム

1 5 0 8 7 9 0

200

料金受取人払郵便

渋谷支店
承認

1132

差出有効期間
平成22年12月
31日迄

受取人

渋谷区渋谷3-25-18
渋谷ガーデンフロント10F

株式会社Jストリーム

株主アンケート係行

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会：毎年3月31日
期末配当金：毎年3月31日
中間配当金：毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

【インターネット】 <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公 告 の 方 法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
当社ホームページURL <http://www.stream.co.jp/>

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 マザーズ市場



第13期・報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

証券コード：4308



代表取締役会長兼社長
白石 清

ネットワークと映像という 当社の核に注力しつつ、 「もっと素敵な伝え方を。」を 追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当社の経営に一方ならぬご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。このたび当社「第13期報告書」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。
第13期は、企業の広告宣伝費などの活動費の絞り込みから、当社を取り巻く環境は厳しいものとなりました。
インターネット上での映像配信に関しては、コンテンツ配信への動きが活性化する一方、外資系を含む大手企業の活動の活発化や無償で利用できる配信プラットフォームの広まりを受け、配信価格の低価格化が進みました。また、景気の悪化に伴う顧客企業の広告宣伝活動の絞り込みが顕著となり、映像を利用したプロモーション需要は低調となりました。

当社グループは、配信プラットフォームブライトコープを中心に販売促進活動を推進、大口顧客向け低価格プランを導入するなどして市場環境に対応いたしました。また、下期以降全社的な支出抑制や業務効率化施策に取り組みましたが、売上の減少をカバーするには至りませんでした。映像制作を行うクロスコ株式会社を子会社としたことから、連結売上高は5,481百万円と前期に比べて18.2%の増収となりましたが、164百万円の営業損失及び151百万円の経常損失となりました。また、投資有価証券の減損損失など、特別損失127百万円を計上したことにより、206百万円の当期純損失となりました。

当期は資本準備金の一部を資本剰余金に振替し、資本政策の柔軟性を確保いたしました。このような状況に鑑み、期末配当については誠に遺憾ではありますが見送らせていただきました。株主の皆様のご期待を裏切る結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。

第14期につきましては、経営環境は引き続き厳しいですが、当社グループ事業の核であるネットワークと映像を中心に、単なる映像配信ではなく、顧客企業のニーズに合わせたアプリケーションを含めて提供することを通じて市場競争力向上を図ります。また、本社の移転とグループ会社の集約を行い、グループ連携の向上と費用の削減を通じて、収益改善に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも変わらぬご理解とご厚情、そして一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成22年6月

<全般の状況>

当期におきましては、金融不安を発端とした景気が低迷する中でありますが、消費者に向けて比較的安価に情報を選択的に発信でき、消費者が積極的に情報を取得し、サービスを利用できる手段としてインターネットはその重要性を増しております。例えば広告目的の利用においては、いわゆるマスメディアを利用した広告が大きく減少する中、インターネット広告市場は拡大を続けております。当社グループは、メディア企業や大規模コンテンツプロバイダーへの営業体制強化、サーバーの性能アップと容量増強等による配信コストの削減などに加え、前年度より提供を開始したコンテンツ配信プラットフォームである「ブライトコープ」の商品力も活用して事業を推進いたしました。

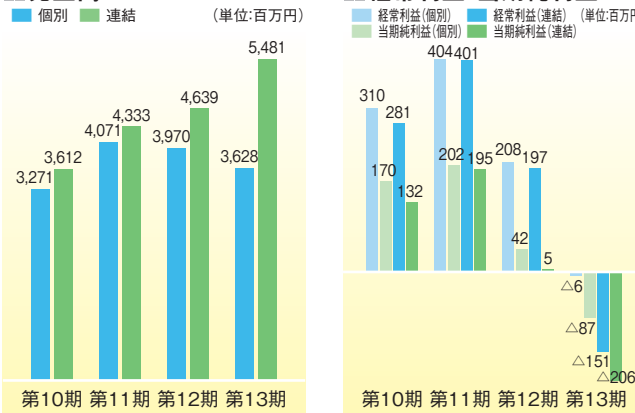
平成21年4月には、映像制作を主な事業とするクロスコ株式会社の株式を追加取得し、連結子会社といたしました。当期の需要動向は、期間を決めて実施されるプロモーション関連の案件において、景気の悪化に伴う広告宣伝活動の絞り込みが行われたり、インターネットを利用する場合であっても、当社グループが主に手ける映像を中心とした手法に比べて費用対効果が確認しやすい手法に関心が集まる結果となり、全体に低調となりました。また、無料で利用できる映像配信プラットフォームの普及や外資系を中心とした競合各社の活動の活発化に伴い、映像配信に関する価格圧力や、顧客ニーズの高度化・複雑化が進みました。

コンテンツ配信ビジネス用途の開拓においても、「ブライトコープ」等の新提案に伴い新規案件の獲得が進んではいるものの、既存顧客に対するサービス提供停止や、競合各社との価格競争に伴う単価引き下げの影響などから、全体として低調な推移となりました。販売面では、新規顧客獲得のため専任組織を設置して活動を展開いたしましたが、全体の落ち込みを埋めるには至らず、売上高は前年を下回る水準で推移いたしました。

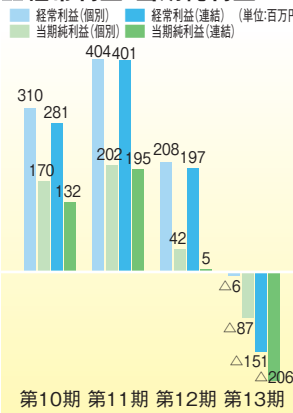
管理面では、社内体制の見直しによる利益率の改善に取り組み、外注に関するフローの見直しや、全社的な経費節減による効果が出ましたが、本格的な取り組みが下半期になったことから当期における効果は限定的であります。

特別損益においては、スポーツサポートサービスの共同事業解消に伴う関連設備譲渡により、固定資産売却益を44百万円特別利益に計上いたしました。また、当社の保有する株式のうち、業績の低迷に伴い実質価額が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、減損処理による投資有価証券評価損を62百万円特別損失に計上いたしました。さらに、受託に基づくコンテンツ配信システムの開発・構築の遅延に伴い、当該サービスの開始の遅延期間に対応した遅延損害引当金31百万円の繰入を行い、特別損失に計上しております。

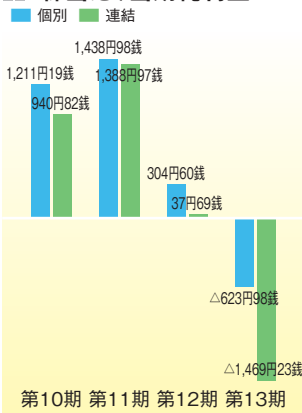
■売上高



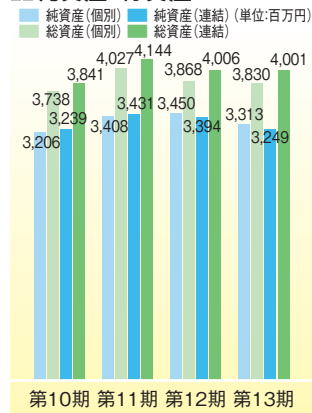
■経常利益・当期純利益



■1株当たり当期純利益



■純資産・総資産



Webカメラ・マイクだけで簡単にインターネットライブを行える『quickLive』を提供開始

Webカメラ・マイクとインターネットに接続できる環境があれば、どこでもインターネットライブを実施できるサービス、『quickLive』の提供を開始しました。

『quickLive』を使うと、お客様側で用意したWebカメラからの映像と資料スライドを同期させたインターネットライブが簡単に実現できます。またライブを行いながら視聴者とリアルタイムでコミュニケーションがとれる掲示板機能や、リアルタイムで集計できるアンケート機能も備えています。

ユーザー視聴側では、掲示板への書き込み、スライド資料の手めくり、アンケートへの回答に加えて、映像エリアとスライドエリアの切り替えが行えます。映像に注目したい際は映像を大画面で視聴し、資料に注目する際は資料を大きくして確認する、といった、場面に合わせた視聴方法をユーザーが自由に選択できます。



視聴者側で、スライドをメインにするか、映像をメインにするかをいつでも調整できます。

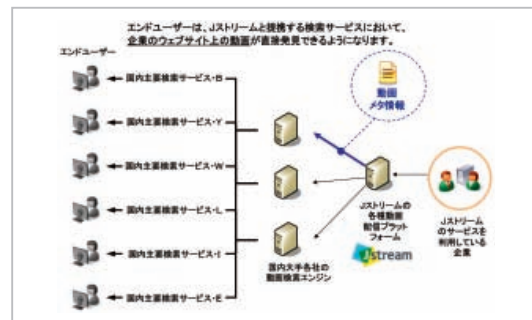
各社の動画検索サービスにおいて、企業の公式動画を検索可能とするトライアルを実施中

インターネット上での検索サービスを提供する各社と提携し、Jストリームの配信する企業の公式動画コンテンツを検索サービスで検索可能とするトライアルサービスを実施しています。

国内で提供されている各種の動画検索サービスでは、主にYouTubeやニコニコ動画といった動画共有サイト上の投稿動画と、そのポータルが独自に提供している映像を検索対象としているため、検索をしても一般の企業サイト上で提供されている公式の動画コンテンツを発見することは困難です。

この取り組みにより、動画を提供する企業側にとっては、費用をかけて作成したコンテンツをユーザーにより多く見ていただける機会を獲得することになり、ユーザー側はより簡単に様々な動画を視聴することができるようになります。

さらに、動画検索経由でのコンテンツの視聴傾向を分析するなどし、動画の提供側、視聴者の側双方に有益なサービスの開発につなげていく予定です。



【その他のトピックス】

平成22年2月に臨時株主総会を実施しました。
平成22年3月に自己株式の購入を実施しました。

当社グループの核である映像とネットワークに注力し、利益率向上を第一とします

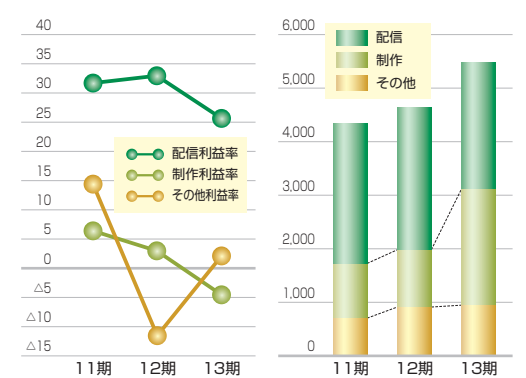
当社グループの事業は装置産業的な性質があります。映像配信ネットワークは構築済みであるため、これを用いて配信する映像データの量が大きくなれば利益率の改善が図れます。但し単純に配信だけを行うビジネスは少なく、多くの場合ウェブサイトや配信システム等の構築が伴います。

これまでは売上額が大きく、差別化しやすかったため、顧客ニーズに合わせた個別カスタマイズによるシステム開発やWeb制作を増加させてきましたが、こうした案件は工数も多く外注比率も高くなるため、売上高増加の一方、全体では利益率の低下を招く要因になっていました。

当期は共通化・パッケージ化されたサービスを用いて顧客ニーズに対応することを通じて、競争力の向上と利幅の拡大双方を追求します。

- ◆ 単純な映像配信ではなく、顧客がビジネスサイクルの様々な場面で行いたいことに合わせて様々なアプリケーションを提供することでトータルでの競争力を高めます
- ◆ アプリケーションの定形化を通じて、コスト削減（利幅拡大）を図ります

セグメント別売上及び営業利益率の推移



【事業運営の転換】

1. 既存事業（配信）をベースにしつつも、開発戦略を転換
2. 売上重視から利益重視の運営へ

【サービス開発】

- 収益率の高いASP商品（ネットワーク・アプリケーション）を重点開発

【営業】

- ASP商品へ販売シフト
- 発展性を考慮しても収益の低い案件は無理をして獲得しない

【管理・運営】

- 利益管理を徹底：営業組織、制作組織、商品別等利益で評価

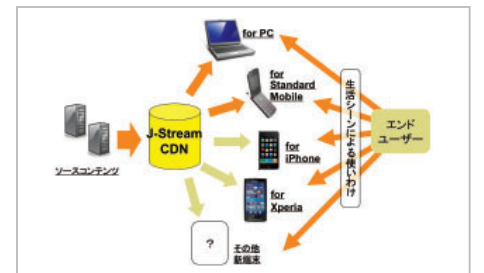
【製品サービス戦略】

- ビデオ（映像、音声）＆ネットワークを徹底してJストリームの強みとします（様々な端末機器への総合ビデオ配信プラットフォーム）
- 制作も含め総合的なユーザーインターフェースで強みを持ちます
- Jストリームはアプリケーション化、パッケージ化、サービスの共通化を徹底し、制作子会社はJストリームのビジネスをサポートします
- 顧客の映像ニーズを捉えて、技術的に課題解決します
- 売上拡大より利益拡大を優先し、案件を選別します

【製品サービス戦略の一環として】

◆「クロスデバイス ライブ for Standard Mobile」

PC、携帯電話に加えて様々な種類のデバイス（端末）を利用してインターネットを利用する動きが広がっています。こうした環境変化に対応すべく、映像の「クロスデバイス展開」をサポート開始しました。マルチプラットフォームに対応した、クロスデバイス展開手法提供の第一段階と定義し、今後iPhone、Android携帯などのスマートフォンやその他の端末向け配信ソリューションをリリース予定です。



連結財務諸表

連結貸借対照表

科 目	当 期 (平成22年3月31日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成22年3月31日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,828,602	2,645,094	流動負債	597,505	484,670
現金及び預金	738,318	683,225	買掛金	34,799	18,964
受取手形及び売掛金	1,006,834	742,948	未払金	416,050	366,723
商品	4,737	3,560	リース債務	18,937	3,298
仕掛品	18,104	24,676	未払法人税等	17,008	14,486
預け金	900,000	1,050,000	未払消費税等	17,991	22,975
繰延税金資産	16,144	8,052	賞与引当金	12,046	7,181
その他	151,003	133,432	遅延損害引当金	31,000	—
貸倒引当金	△ 6,540	△ 801	その他	49,670	51,040
固定資産	1,172,601	1,361,710	固定負債	153,747	127,721
有形固定資産	222,375	198,929	リース債務	52,576	8,932
建物	45,979	47,241	退職給付引当金	8,657	—
機械装置	1,405	3,015	負ののれん	92,391	118,789
器具備品	108,113	137,113	その他	121	—
リース資産	66,877	11,559	負債合計	751,253	612,392
無形固定資産	619,726	538,594	(純資産の部)		
のれん	175,968	167,794	株主資本	3,114,726	3,369,251
ソフトウェア	405,341	354,277	資本金	2,182,379	2,182,379
その他	38,417	16,522	資本剰余金	1,268,458	1,430,642
投資その他の資産	330,499	624,187	利益剰余金	△ 286,114	△ 243,770
投資有価証券	278,913	549,024	自己株式	△ 49,997	—
その他	52,992	97,120	少数株主持分	135,225	25,160
貸倒引当金	△ 1,407	△ 21,958	純資産合計	3,249,951	3,394,412
資産合計	4,001,204	4,006,805	負債純資産合計	4,001,204	4,006,805

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

科 目	当 期 (平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで)	前 期 (平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで)	科 目	当 期 (平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで)	前 期 (平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで)
売上高	5,481,866	4,639,418	特別利益	72,160	17,150
売上原価	3,412,615	2,690,022	前期損益修正益	—	5,883
売上総利益	2,069,250	1,949,395	貸倒引当金戻入益	21,451	1,339
販売費及び一般管理費	2,233,555	1,781,616	解約金	—	8,741
営業利益	△ 164,304	167,779	固定資産売却益	44,500	—
営業外収益	46,702	45,562	その他	6,208	1,185
受取利息	9,395	16,882	特別損失	127,316	125,232
業務受託手数料	5,366	5,366	固定資産除却損	4,214	4,444
為替差益	216	4,796	投資有価証券評価損	62,562	71,660
負ののれん償却額	26,397	13,572	減損損失	5,238	24,499
その他	5,326	4,944	事務所移転費用	—	3,635
営業外費用	33,702	16,194	貸倒引当金繰入額	—	20,992
支払利息	2,636	199	支払和解金等	18,420	—
持分法投資損失	—	5,485	遅延損害引当金繰入額	31,000	—
組合分配損失	29,348	9,947	その他	5,881	—
その他	1,717	561	税金等調整前当期純利益	△ 206,460	89,065
経常利益	△ 151,304	197,146	法人税、住民税及び事業税	12,771	92,958
			法人税等調整額	1,947	△ 1,431
			少数株主損失	15,154	7,748
			当期純利益	△ 206,024	5,287

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

株主資本		自己株式		少数株主持分	
資本金		前期末残高	－	前期末残高	25,160
前期末残高	2,182,379	当期変動額		当期変動額	
当期変動額		自己株式の取得	△49,997	株主資本以外の項目の	
当期変動額合計	－	当期変動額合計	△49,997	当期変動額（純額）	110,064
当期末残高	2,182,379	当期末残高	△49,997	当期変動額合計	110,064
資本剰余金		株主資本合計		当期末残高	135,225
前期末残高	1,430,642	前期末残高	3,369,251	純資産合計	
当期変動額		当期変動額		前期末残高	3,394,412
欠損填補	△162,183	欠損填補	－	当期変動額	
当期変動額合計	△162,183	当期純損失	△206,024	欠損填補	－
当期末残高	1,268,458	連結範囲の変動	1,496	当期純損失	△206,024
利益剰余金		自己株式の取得	△49,997	連結範囲の変動	1,496
前期末残高	△243,770	当期変動額合計	△254,525	自己株式の取得	△49,997
当期変動額		当期末残高	3,114,726	株主資本以外の項目の	
欠損填補	162,183			当期変動額（純額）	110,064
当期純損失	△206,024			当期変動額合計	△144,461
連結範囲の変動	1,496			当期末残高	3,249,951
当期変動額合計	△42,344				
当期末残高	△286,114				

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)					
科 目	当 期 (平成22年3月31日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成22年3月31日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,007,962	2,253,703	流動負債	475,166	408,395
現金及び預金	441,007	431,274	買掛金	1,346	315
受取手形	9,208	8,343	リース債務	14,625	3,298
売掛金	532,516	583,279	未払金	371,614	339,132
仕掛品	10,425	14,821	未払費用	1,563	4,190
前払費用	66,503	94,232	未払法人税等	10,680	9,110
繰延税金資産	15,797	7,782	未払消費税等	9,547	11,829
預け金	800,000	1,050,000	前受金	12,013	18,491
未収入金	—	3,900	預り金	12,217	10,938
未収還付法人税等	44,032	—	賞与引当金	6,420	7,181
立替金	52,173	—	遅延損害引当金	31,000	—
その他	40,788	60,320	その他	4,138	3,907
貸倒引当金	△ 4,491	△ 252	固定負債	41,954	8,932
			リース債務	41,954	8,932
固定資産	1,822,501	1,614,462	負債合計	517,120	417,328
有形固定資産	190,703	183,288	(純資産の部)		
建物	34,843	38,944	株主資本	3,313,342	3,450,838
機械装置	1,405	3,015	資本金	2,182,379	2,182,379
器具備品	101,492	129,770	資本剰余金	1,268,458	1,430,642
リース資産	52,962	11,559	資本準備金	668,458	1,430,642
			その他資本剰余金	600,000	—
無形固定資産	343,518	296,258	利益剰余金	△ 87,497	△ 162,183
のれん	—	17	自己株式	△ 49,997	—
商標権	11,153	10,862	純資産合計	3,313,342	3,450,838
ソフトウェア	327,167	280,181			
電話加入権	5,196	5,196			
投資その他の資産	1,288,279	1,134,915			
投資有価証券	272,837	366,644			
関係会社株式	950,006	686,552			
従業員長期貸付金	8,574	11,724			
関係会社長期貸付金	40,817	47,171			
長期前払費用	5,700	3,756			
繰延税金資産	2,844	12,883			
その他	7,813	6,580			
貸倒引当金	△ 315	△ 399			
資産合計	3,830,463	3,868,166	負債純資産合計	3,830,463	3,868,166

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Non-Consolidated Financial Statements

損益計算書

(単位：千円)		
科 目	当 期 (平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで)	前 期 (平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで)
売上高	3,628,896	3,970,517
売上原価	2,156,422	2,357,174
売上総利益	1,472,473	1,613,343
販売費及び一般管理費	1,492,421	1,442,217
営業利益	△ 19,947	171,126
営業外収益	45,774	47,217
受取利息	7,965	15,666
為替差益	216	4,796
業務受託手数料	33,038	23,876
雑収入	2,990	2,072
その他	1,563	805
営業外費用	32,498	10,055
支払利息	1,570	107
組合分配損失	29,348	9,947
その他	1,579	—
経常利益	△ 6,671	208,288
特別利益	45,500	17,019
固定資産売却益	44,071	0
投資有価証券売却益	1,017	10,260
貸倒引当金戻入益	412	875
前期損益修正益	—	5,883
特別損失	120,522	98,378
固定資産除却損	4,214	2,217
投資有価証券評価損	62,562	71,660
減損損失	—	24,499
支払和解金等	18,420	—
遅延損害引当金繰入額	31,000	—
その他	4,324	—
税引前当期純利益	△ 81,693	126,930
法人税、住民税及び事業税	3,780	85,865
法人税等調整額	2,024	△ 1,667
当期純利益	△ 87,497	42,731

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

